

小児AYA世代がん患者支援チームより

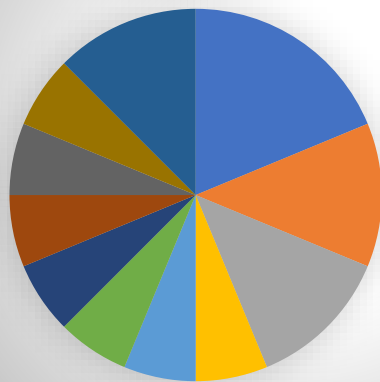
こんにちは！小児AYA世代がん患者支援チームです。
久しぶりの発行ですが、
地道に活動継続しています！

患者データ

令和4年度上半期にがんセンターでは41人の小児AYA世代患者さんががんと診断を受けました。
(初診料算定対象者)
そのうちチーム支援に繋がったのは15人・36.5%です。

支援介入した内容は、『妊孕性』『経済問題』『就労』『養育』『ピアサポート』等です。

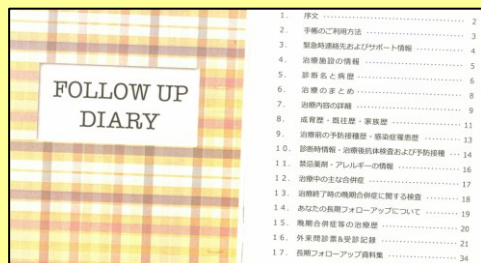
介入したがん種



- 骨軟部腫瘍
- 乳がん
- 脳腫瘍
- 悪性リンパ腫
- 口腔がん
- 胃がん
- 高度異形成
- 神経内分泌腫瘍
- 精巣がん
- 子宮がん
- その他

お知らせ

①知っていますか？フォローアップ手帳
日本小児がん研究グループの長期フォローアップ委員会
が治癒した後も高い生活の質 (QOL)を保つことができる
ように、とフォローアップダイアリーを作成しました。
治療中から自分の疾患や治療の情報を持つておくことが
大切です。がん相談支援センターにありますので、
お気軽にお声がけください。



②千葉県小児AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業 実施要項が一部改訂
令和3年度から開始している、妊孕性温存医療への助成
について、温存後生殖補助医療にも適用される予定。
がんの治療を終えて子を授かるための医療費も
一部助成されることになりそうです。
開始時期が決まりましたら、部会よりお知らせします。

千葉県小児・AYA世代の がん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業	
対象となる妊孕性温存療法と助成上限額	1人につき通期2回までです
①胚（受精卵）凍結	35万円
②未受精卵凍結	20万円
③卵巣組織凍結	40万円
④精子凍結	2万50円
⑤精巣内精子採取術による精子凍結	35万円

◆令和3年4月1日以降に実施した妊孕性温存療法が対象です。
◆助成上限は、異なる治療を受けた場合にも適用範囲上です。
※例：胚・受精卵凍結①回、未受精卵凍結②回と定めます。
なお、卵巣組織凍結及び精子凍結はそれぞれ1回と定めます。
◆妊孕性温存療法及び初期の凍結保存に要した医療費は別途費用が
対象です。
◆要した費用が助成上限額以下の場合は、その金額までの助成となり
ます。
◆入院費料（差額ベッド代等）、食事療養費、文書料等の治療に直接
関係のない費用及び初期の凍結保存費用を除く凍結保存の維持に
係る費用が対象です。
◆経過不順などにより、医師の判断に基づき妊孕性温存療法を中止し
た場合も助成の対象となります。

AYAweekのご案内



知ろう、一緒に。

AYA世代の"がん"の今と
「つながる」1週間。

※AYA世代とは15歳～39歳のこと

2023.03.04(SAT) - 03.12(SUN)

110311

昨年から始まった、AYAweekが今年も開催されます。このイベントはAYA世代の患者さんやその支援者を繋ぐものです。今回は『知ろう、一緒に』がテーマです。当院のがん相談支援センターが開催事務局のYouTubeチャンネルにて紹介動画で掲載されています。開催中は午前中から夜まで、様々なオンラインイベントが予定されています。詳しくは、公式ホームページをご覧ください。

<https://ayaweek.jp/2023/>



ご依頼・お問合せは、がん相談支援センター（内線：7145）まで